

5. 一般社団法人パイオニズム（福島県南相馬市）

～小高パイオニアヴィレッジプロジェクト～

① 取組背景・地域課題

- 南相馬市小高区では、2016年7月に避難指示が解除されたものの、住民の帰還は思うように進んでおらず、いまだ3,500人程度（震災発生時は約12,800人）であり、今後、持続可能な地域として存続していくには、**地域内から多様な事業が創出される風土を醸成**することが急務である。
- そのため、地域の交流・活動拠点として、簡易宿所付コワーキングスペース「小高パイオニアヴィレッジ」（以下OPV）を2019年3月に設立。事業を生み出す人材を誘致または育成していく必要があり、**関係人口を含めた活動性の高いコミュニティを創出**することが求められている。

② 支援体制

コーディネーター
(支援事業者)

(株) アスノオト

外部専門家
連携団体等

- NextCommonsLab南相馬
- 小高ワーカーズベース
- 錦町ブンカイサン

③ 本事業の目的と取組内容

地域内外の関係人口の活動・交流拠点となるOPVを事業創造のためのコミュニティスペースとして活性化するとともに、創発型の運営チーム及びコミュニティを形成する

取組① OPV運営チーム内の人材育成

- ⚡ 個々のメンバーが自ら判断しながら取り組むことのできるチームをつくる。
- ⚡ 個々のメンバーの成長方針や事業の進め方に関するヒアリングを行い、自律的な判断のために必要な全体目標等を整えていく。

- 自治会や関連団体と連携したプログラムの開発(3件程度)
- 新メンバーによるオペレーション改善起案数10個

取組② 関係人口を交えた創発型コミュニティの形成

- ⚡ OPVにジブンゴトとして関わろうとしてくれるプロボノを獲得し、自律的なコミュニティづくりの活動を促す。
- ⚡ 経営層だけでなく、現場スタッフがプロボノを有効活用しながら、イベントなどを企画・運用できる体制を構築する。

- OPVから創出される、地域課題解決やコミュニティデザインに携わるプロボノを2-3名獲得
- 関係人口が小高地区に関わりやすくなるためのイベントを月1で行えるよう仕組み化

取組③ 関係人口増加と地域活性化に向けたOPVの活用

- ⚡ 施設を定期的にご利用し、コミュニティのコアとなる文化をともに作るメンバー（法人会員）や、起業・新規事業などに関心を持つ関係人口が集い、地域活性化の起点となる拠点とするため、OPVにおける場づくり・コンテンツ強化を進める。

- OPVの法人会員の獲得・関係人口との連携強化に向けた事業スキームの明確化